

個人情報の保護に関する方針

当事業所では、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを介護・医療サービスに携わるものの重大な責務と考えます。個人情報の取扱いに関する適切性の確保を、当事業者をはじめ医療法人財団厚生協会全体の重大課題と捉えて取り組んでおります。

そこで、個人情報の保護に関する指針を以下の通り定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報の保護に努めます。

【1】 個人情報の取得

訪問看護の提供に必要な範囲で利用者及びその家族から個人情報を適正かつ公正な方法で取得に努めます。

【2】 個人情報の利用目的

通常必要とされる個人情報の範囲は訪問看護に必要な情報です。利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報を取り扱うことはありません。利用目的の中で同意しがたい事項がある場合はいつでも変更しますので意思表示をしてください。意思表示がない場合は同意が得られたものとします。

【3】 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の滅失、毀損、漏洩などに関する万全の予防対策を講じます。万一の問題発生時には速やかに是正対策を実施します。

【4】 個人情報の第三者への提供

個人情報を第三者へ提供する際は、あらかじめ本人の同意を文書で得ます。ただし、他の事業所ではあるが、都道府県等の外部監査機関など第三者に該当しない場合は同意を文書で得ないことがあります。

【5】 個人情報の開示・訂正・利用停止

本人等からの内容の開示・訂正あるいは利用停止などを求められた場合には、当事業所の情報提供の手続きに従って開示します。

【6】 個人情報に関する関係法令及び「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイダンス」などの厳守と教育

個人情報保護体制を適切に維持するため、個人情報に関する関係法令及び「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイダンス」などを厳守します。また、職員の教育・研修を徹底します。

【7】 問い合わせ・苦情窓口

個人情報に関するお問い合わせや苦情などは、下記の窓口をご利用ください。

個人情報窓口 小林 圭介

医療法人財団 厚生協会	理事長	関 晶比古
訪問看護ステーション保木間	管理者	小林 圭介

訪問看護ステーション保木間における個人情報の利用目的

【利用者本人への介護サービス等の提供に必要な利用目的】

◎ 訪問看護ステーション内部での利用目的

- ・ 当事業所が利用者等に提供する看護サービス、医療サービス、リハビリテーションサービス、介護相談などの訪問看護で提供するサービス
- ・ 医療保険、介護保険の請求に係る業務
- ・ 医療サービス、介護サービス等の利用者に係る当事業所の管理運営業務のうち下記の業務など

- ① 会計・経理
- ② 事故等の報告
- ③ 当該利用者へのサービス等の向上

◎ 他の事業所等への情報提供に伴う利用目的

- ・ 訪問看護ステーションが利用者に提供する各種サービスのうち以下の場合

- ① 当該利用者本人に居宅サービスを提供する居宅サービス事業者との連携に必要な場合
 - ② 訪問看護を提供するにあたり当該利用者の主治医、又は入院等に関わる医療機関等と連携をとる場合
 - ③ 当外利用者が受けている当法人の医療機関のカルテ情報や、介護サービス事業者の記録情報を共有する場合
 - ④ 地域の保健センター、福祉事務所、各自治体のサービス担当者等からの意見等求める場合
 - ⑤ 家族への状況説明
- ・ 介護保険業務、医療保険業務のうち以下の場合
- ① 審査支払い機関への請求業務
 - ② 審査支払い機関または保険者からの照会への回答
 - ③ 費用の請求及び収受に関する事務
 - ④ 損害賠償保険等に関わる保険会社等への相談又は届出等

【上記以外の利用目的】

◎ 訪問看護ステーション内部での利用に係る利用目的

- ・ 当事業所の管理運営業務のうち以下の場合
- ① 各種提供サービス等や業務の維持、改善のためのアセスメント資料
 - ② 当事業所等で行われる学生等への実習の協力
 - ③ 当事業所で行われる事例研究等

◎ 他の事業所等への情報提供に係る利用目的

当事業所の管理運営業務のうち、外部監査機関への情報提供

付記①上記のうち、外部の居宅サービス事業者や医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合はその旨をお申し出ください。

- ② お申し出がないものについては同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。
- ③ これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等することが可能です。